

全身健康を構築するための咬合の臨床
—より実践的な咬合医療のために—

この度、特定非営利活動法人日本咬合学会第23回学術大会-東京-が東京歯科大学にて開催されます。本学会の根幹である丸山咬合医学は身体のみならず、こころ、美容とアンチエイジングにおいても効果がみられ、今まさに成熟期を迎えようとしております。今年は、より臨床症例の視点から今一度新しい咬合医療である丸山咬合医学を振り返ってみることにし、著名な講師による特別講演、会員による講演、リサーチ、技工士とスタッフ向けの講演内容を充実させた多彩なプログラムを取り入れました。そして一般の歯科関係者の方々にも丸山咬合医学を広く知っていただくとともに深く理解していただきたいと思っております。今回は、首都東京で開催され、参加される皆様に国際都市東京を大いに楽しんでいただく観光の企画も立てております。どうか学術大会で知識の整理と新知見を取り入れ、臨床に応用していただきたく思います。



©TCVB

会長 横山尚弘、伊東将悦、吉村義孝
大会長 鶴崎和義

特別講演



佐藤 亨

「咬合も審美も
正中・重力線から」
東京歯科大学
クラウンブリッジ補綴学講座教授



橋本 正次

「触れて診る頰部の解剖」
東京歯科大学
法歯学・法人類学講座教授



青木 晃

「スマートフォンとウェアラブル端末
による実践型アンチエイジング医療
～行動変容を促す生活習慣改善
プログラム「メディテス™」とは?～」
医療法人社団友志会
ラクラクリニック総院長



澤口 俊之

「かみあわせと脳」
人間性脳科学研究所所長
武蔵野学院大学・大学院教授



丸山 剛郎

「丸山咬合医学・
医療の新しい考察」
大阪大学名誉教授
日本咬合臨床研究所所長

丸山咬合医療の臨床実践講演

講演演者…………… 青木隆典、栗本武俊、北村幹夫
富安 誠、横山尚弘、吉村義孝

会員発表

丸山咬合医療に関する臨床例などの様々な分野について

理事長企画リサーチ

子供の咬合と全身健康、高齢者の咬合と全身健康及び補綴との関わり、全身健康チャートにおける「こころ」の統計分析

技工士のための丸山咬合医療の咬合再構成

咀嚼運動咬合器マスティキュレーターII型の操作法、咀嚼のできる補綴物のワックスアップ、顎は正装置作製の講演と実技デモ、咀嚼技工コンテストと展示

2018年7月7日(土) 8日(日)

東京歯科大学 (水道橋校舎新館)

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-1-14

◆ 7日 東京観光、懇親会

参加登録費		事前	当日
会員	歯科医師……………	24,000	26,000
	コ・デンタル……………	10,000	12,000
	スタッフ……………	5,000	5,000
非会員	歯科医師……………	26,000	26,000
	コ・デンタル……………	12,000	12,000
研修医……………	5,000	5,000	
東京観光、懇親会費……………		15,000	

振込先: 紀陽銀行 御坊支店 普通 1202269
日本咬合学会学術大会 栗本 慎治

ふりがな	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 歯科医師	ふりがな	TEL
氏名	<input type="checkbox"/> 技工士	勤務先	FAX
住所	<input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> スタッフ		E-mail
第23回学術大会 懇親会		出席・欠席	名